平成二十六年度　　小中学部　卒業式　式辞

　いよいよ卒業の日になりました。今、卒業証書をお渡しいたしました、小学部十七名、中学部二十名の皆さん、卒業おめでとうございます。ご出席の保護者の皆様はもとより、教職員一同、立派に成長していることを本当に嬉しく思っております。

　卒業生の皆さん、皆さんは、この吹田支援学校でいろいろなことを学びました。

小学部の皆さんは、この六年間で身の回りのことは、自分でできるようになり、ことばやかずの勉強等から、人の話を聞いたり、自分の気持ちを伝えることもできるようになったと思います。朝のランニングでは体力がつき、校外では社会のルールの勉強もしました。

中学部の皆さんは、教科の学習で知識を増やし、考える力をつけ、職業の時間では、集中して作業に取組むことができるようになったと思います。学校行事では、自分の力を出し切る大切さや、人前で発表する難しさも学びました。

　四月からは中学部・高等部をはじめ進路先は様々です。ひとつお兄さん、お姉さんになることに嬉しいなという思いとともに、今まで学んだことに自信をもち、様々なことにチャレンジし、前進してください。最初から出来る人なんていません。出来ないことを繰り返しチャレンジすることで、出来ることはいっぱいあります。勇気を出して、根気よく、あきらめないこと。これがひけつです。

さて、本日本校小中学部卒業式にご臨席のご来賓の方、関係機関の方々、ご多忙の中ありがとうございます。又平素からの本校の教育活動へのご理解とご支援に対しまして、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申しあげます。

これまで様々なご苦労を乗り越えられ、我が子を支え育まれてこられた保護者の皆様におかれましては、重ねて心から敬意を表します。どうかこれからも卒業生を含め、本校への温かいご理解とご支援をお願い申しあげます。

　最後になりましたが、卒業生のみなさんのご多幸と次の進路先での充実した学校生活を願いまして、私の式辞とさせていただきます。

平成二十七年三月十三日

大阪府立吹田支援学校　校長　　奥野　喜之